



潟上市大久保地区、馬踏川河口近くの桜並木より太平山地を望む田園風景

国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信 4月

2024年 No.10

“ひとり一人の奉仕が光をともし、みんなの明かりに”

- RI 会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- 米山記念奨学生卓話報告
- 能登半島地震災害支援金の御礼と報告
- RI 第2540地区 2023-2024年度北区 IM
- PETS 会長エレクト研修セミナー
- 大曲仙北 RC 30周年記念式典
- 新会員紹介

4月のテーマ

環境月間



第2540地区 2023-24年度ガバナー 淡路 徹



世界に希望を生み出そう

RI 会長メッセージ

ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度会長

2024 年 4 月

今こそ、平和が切実に求められています。中東はここ何年かで最も情勢が不安定な状態にあります。ウクライナでの戦争は第二次世界大戦以降ヨーロッパで最大規模の戦争であり、スーダンと中央アフリカの一部でも武力紛争が発生しています。ほぼすべての大陸で大規模な武力紛争が起こっています。

ロータリーは平和を推し進める上で重要な役割を担っています。「ロータリーは戦争を望む人びとに負けないくらい積極的に平和に取りくむ必要がある」と私はよく口にします。その精神は、ロータリーのビジョン声明に表されています：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。世界に変化をもたらすには自身自身の変化を促す必要がある、という 4 番目の部分を忘れてはなりません。

平和を築く行動を互いに実践できるかどうかは、自分たち次第です。私たちは、相手の動機を疑い、最悪の解釈にすぐ飛びつくべきではありません。関係や気分を害させるような言葉を言われたら、その発言の意図を思いやりと好奇心をもって聞き返す機会が私たちにはあります。そうすれば、関係を修復するチャンスが生まれます。

世界の模範になりたいのであれば、互いにそうなることから始めましょう。相手を傷つけ、不信を生み出す言葉ではなく、より深い理解と実り豊かなつき合い方を一緒に見つけましょう。ロータリーの理念を守りつつ、対立を悪化させるのではなく終わらせるために互いの誠意を疑わないことが大切です。

キング牧師暗殺事件が起こった 1968 年 4 月 4 日にロバート・ケネディ上院議員が行った演説が思い出されます。インディアナポリスで遊説中だったケネディ上院議員は、キング牧師が殺害されたことをまだ知らないアフリカ系アメリカ人を中心とした住民たちに演説しているところでした。

上院議員はその悲報を伝え、正義と平和のために尽力したキング牧師を称えました。そして、次の言葉が怒り悲しむ群衆の心をつかみました。「このような正義にもとる行為に、あらゆる白人に対して憎しみと不信感が募りそうだという黒人の方には、私も同じ気持ちだ、としか言えません。私も家族の暗殺を経験していますから」。ジョン F. ケネディ元大統領の暗殺事件について彼が公の場で話したのは、このときが初めてでした。その夜、アメリカ中の都市で暴力事件が多発しましたが、インディアナポリスでは起こりませんでした。

RI 会長メッセージ 4月

危機と絶望の中で、私たちは何よりも共感を必要としています。共感こそ平和の最も強力な手段です。世界に希望を生み出すために、勇敢に、そして謙虚に最初の一步を踏み出すには、共感の心を持たなくてはなりません。

2023－2024 年度 地区大会挨拶

国際ロータリー2540 地区

ガバナー 淡路 徹



RI は 4 月を特別月間として「環境」を掲げている。

世界はウクライナ侵略、イスラエルのガザ侵攻、日本の隣国は大規模な岩礁の埋め立て等、人間の争い事で、都市破壊や海洋破壊が行われている。そして地球の温暖化で大規模森林火災の頻発や、海面上昇で陸地が減少している。

いずれにしても人間のしでかしたことである。ロータリアンは自然保全に力を入れることが求められていると思う。

RI 第 2540 地区は「神々の住む森」白神山地の原生ブナ林を擁している。ユネスコ（国連教育科学文化機関）が世界自然遺産として認定した。こうした世界自然遺産も地球の温暖化で変化せざるを得ない。

自然環境保全には、私の所属するクラブも創立時から環境保全活動を行って来た。人工的にせき止められた八郎残存湖は復活には程遠い。

リーダーがどの様にするかを見通し、都市であれ、海洋であれ、大森林であれ、湖水であれ、世界の賢者の話を聞き、そして 止めなければ、地球破壊にまっしぐらの状態だと感じている昨今である。

国際ロータリー第 2540 地区
ロータリー米山記念奨学委員会
2023-2024 年度
委員長 呉宮 廣哉 様

2023 年 10 月 30 日
秋田北ロータリークラブ米山奨学記念委員長
三浦崇暢

2023年度ロータリー米山記念奨学生「楊 夢楠」卓話報告

去る10月3日火曜日、当クラブの例会に米山記念奨学生 楊夢楠さんをお呼びし卓話をしていただきました。世話クラブである大館南ロータリークラブのカウンセラー坂本会員にもご同行いただきました。

楊さんには、自己紹介、自国のこと、日本語の勉強、秋田での生活、バイト経験のこと大学での研究のことなど多くのお話しをしていただきました。楊さんは、秋田大学大学院の修士2年生です。2016年より浜松で生活をしていたということもあり、私が初めてお会いした時にも会話に違和感がなく、とても流暢に日本語を話されていたので驚きました。仕送りが無く、アルバイトをして生計を立てており、そのアルバイトの中で日本語も勉強してきたとの事でした。コンビニや回転寿司、大手チェーン店、新聞配達など日本人学生顔負けのアルバイト経験値を持っており、日本語が上手であることに納得を致しました。

楊さんは河南州出身であり、河南州は少林寺や小麦が有名とのことでした。そのため、麺の文化が形成されており、麺を食べる習慣がついているので、秋田に来てからも多くのラーメン店でラーメンを堪能していると話しておりました。

その他、日本のアニメやゲーム、音楽鑑賞が趣味でとのことでした。特技は写真撮影で秋田の自然を写真におさめることを楽しんでいると話しておりました。秋田の生活を満喫できているようで安心しました。

もちろん、彼は勉学にも力をいれております。研究内容は「振り子を搭載した玉乗りロボットに関する研究」です。簡単に話すと、球の上にロボットを乗せ、そのロボットが球を転がしながら稼働及び移動する研究です。卓話の中で動画を拝見しましたが、玉乗りロボットは非常に繊細な動きを見せていました。この研究の目標はこの玉乗りロボットに竿燈を乗せ、安定させることだそうです。この研究を応用させると、玉乗りロボットに空港案内をさせるなどに使用することが出来るそうです。話を聞いているとショッピングモールのガイドなども出来そうだなと、応用用途が多岐にわたるのではないかと思いました。このようなロボットが近いうちに身近に誕生してきそうでわくわくします。

楊さんはすでにファナック社に内定が決まっているそうです。彼のようなロボット研究に専念してきたような人にはうってつけの会社です。彼のいままでの並々ならぬ努力が報われた結果だと思えます。日本と中国の架け橋になればということも話されていたので彼に対する期待値はとても高まりました。今後も頑張ってもらいたいです。





国際ロータリー第 2540 地区

ロータリー米山記念奨学委員会

2023-2024 年度

委員長 呉宮 廣哉 様

2024 年 2 月 17 日

秋田北ロータリークラブ米山奨学記念委員長

三浦崇暢

2023 年度ロータリー米山記念奨学生「ハーティ フォン ニュン」卓話報告

去る 1 月 30 日火曜日、当クラブの例会に米山記念奨学生 ハーティ フォン ニュンさんをお呼びし、卓話をしていただきました。世話クラブである大曲ロータリークラブのカウンセラー伊藤会員にもご同行いただきました。

ハーティさんには、自己紹介、自国のこと、日本語の勉強、秋田での生活のこと大学での研究のことなど多くのお話しをしていただきました。以前、ハーティさんはお母様の勧めもあり、医者を目指し勉強をしていたそうです。ベトナムの医学大学への進学も決まった際自分が本当に医者になりたいのか葛藤があったと話しておりました。そんな時、ある人との出会いが自分の進路を大きく変えてくれたそうです。その人は、経済的に困窮しているにも関わらず、勉学に励み、遂には日本語学校の奨学金をもらうまでに至ったそうです。そして日本に留学をし、さらには就職も叶い、人生が変わったんだと、ハーティさんに話をされました。そんな知人を見て、その人の人生観に惹かれた結果、自分も自身で道を切り開き、己のしたい事などを自分で見つけることのできる人間になりたいと思い、ベトナム医学大学入学を辞め、日本語の勉強、そして日本留学を決めたそうです。

それからは日本の大学に入るべく、朝 5 時から夜 11 時まで日本語や日本文化の勉強に励みました。とても厳しい日本語学校だったようです。その後、東京で 1 年半を過ごし、そして秋田大学に入学することができたそうです。

しかし、秋田に来ていろいろと困ったこともあったと話しておりました。秋田は東京に比べて田舎であるし、冬は寒いし人も少なく寂しい、友人もいないし、遊びに行ったりもできない、など様々な点で苦労があったそうです。しかし、時間が経つにつれて少しずつ変わってきました。一番の契機は 3 年生になってから、つまりロータリーに入ってからだそうです。ロータリーでは、日本文化（お茶や着物）の体験や秋田観光、大曲の花火、奨学生やカウンセラーとのボーリング大会があったことがとても嬉しく感謝しております、とのことでした。

今後ロータリーに求めることとしては、地域体験や文化体験の機会を増やしてほしいことや、他の奨学生との交流機会を増やしたり又は定期的にやってほしい、ということでした。奨学生同士が交流する機会があまりないのは勿体なく残念でもあると話しておりました。

ハーティさんは、薬剤を減弱させるための研究を行っているということでしたが、今後勤めたいところは研究とは別の路線だそうです。いままでの勉強や体験してきたことを活かして、明るく元気に自身の道を歩んで行ってほしいです。





国際ロータリー第 2540 地区
ロータリー米山記念奨学委員会
2023-2024 年度
委員長 呉宮 廣哉 様

2024 年 2 月 17 日
秋田北ロータリークラブ米山奨学記念委員長
三浦崇暢

2023 年度ロータリー米山記念奨学生「ファン ティ フォン ジャン」卓話報告

去る 2 月 20 日火曜日、当クラブの例会に米山記念奨学生 ファン ティ フォン ジャンさんをお呼びし、卓話をしていただきました。世話クラブである秋田中央ロータリークラブのカウンセラー阿部様にもご同行いただきました。

ジャンさんには、自己紹介、自国のこと、日本語の勉強、秋田での生活のこと大学での研究のことなど多くのお話しをしていただきました。ジャンさんは現在、秋田大学の 3 年生です。これまで 4 年間半日本で生活をし、だんだん日本語が馴染んできたようです。趣味は、写真撮影、ジム、料理、旅行だそうです。旅行については、すでに 14 県をめぐっており日本の文化に多く接していることがうかがえました。

いろいろなお話しの中でも、特に自国ベトナムについて多く話をしてくれました。ベトナムの文化や歴史の紹介、ベトナムの戦争の歴史について、そしてベトナムは以前、貧しい国でしたが自国に対する愛国心や国防精神を大事にしてきたという背景があることを強調しておりました。ベトナムの土地の形は日本のように南北に長く、南部と北部では人柄や気候が異なっており、正月には咲いている花も南部と北部では全然違うそうです。正月では、家族や親せきが集まり、買い物や料理を作ったり、お年玉をあげる文化もあるとのことで、日本と共通している気候や文化があることに驚きました。一方で、ベトナムでは改善しなければならない点が多くあるそうです。それは、交通問題・環境問題・治安の維持などです。そして、これらを改善しなければならないの若い世代の責任だと話していました。

ジャンさんが日本に留学したいと感じたきっかけは、日本の美術レベルの高さにあるようです。この点について詳しい話はなかったように思いますが、旅行の際には各地の美術館などにも行っていたのかもしれません。

彼女は約 4 年間で東北で過ごし、秋田は田舎で寒くて発展していないところでしたと話しておりましたが、時間が経つにつれて、人の温かさがありや穏やかな場所だと感じたようです。そして、秋田の四季を満喫し、友人とも楽しく過ごせることができた場所として思い出深く、またロータリーの人は優しく、間違ったこと等をしたら親切に注意してくれることも有難いようでした。



能登半島地震災害支援金の御礼と報告 4月

国際ロータリー第 2540 地区

ロータリークラブ会長 各位

2023-2024 年度

ガバナー 淡路 徹

地区幹事 佐々木 松彦

能登半島地震災害支援金の御礼と報告

拝啓 早春の候 新年度に入り、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、新年元日の「能登半島地震」は発生から3か月経ても復旧が遅々として進まないなど深刻な被害をもたらしております。

当地区としては昨年7月の秋田豪雨災害に際し、国際ロータリー第2610地区（石川・富山）からもご支援をいただきました。加えて、本県も日本海沿岸に位置し、男鹿半島を抱えていることなどもあり、早急に支援の手を差し延べる必要があると判断、1月12日付で地区の「災害時対応基金」から同地区へ100万円を送金するとともに、地区内各クラブへ支援金のお願いをしました。

結果、全クラブから寄せられた支援金は3月11日をもって別紙のとおり、総額1,572,311円となりました。

つきましては、当初の100万円を地区の基金へ戻し入れするとともに、残金572,311円を3月28日に再度、第2610地区へ送金致しました。

この度は、重ねての募金依頼にもかかわらず、想定を上廻るご寄附をいただきました。地区によっては、数クラブ合同でインターアクトクラブの協力の下、街頭募金を行うなど積極的な活動も展開していただきました。

改めて当地区ロータリアンの奉仕の心と友情の絆の強さに思いをさせ、皆様のご協力に厚く感謝申し上げ最終報告とさせていただきます。

敬具

国際ロータリー第2540地区 2023-2024年度

北区 IM (インターシティミーティング)

今年度のテーマは、『会員増強と退会防止について』として、高崎パストガバナーによる”地区現況報告”に続き、分区内の”活動事例発表と意見交換”が行われました。

日 時 2024年 3月 30日(土)

登録受付 13:30~

IM 開催 14:30~

懇親会 16:00~

場 所 サンルーラル大潟



国際ロータリー第2540地区 2023-2024年度 北区IM 4月







国際ロータリー第2540地区 2023-2024年度 北区IM 4月





PETS ガバナー挨拶

2024.4.13

会長エレクト研修セミナーにご参加賜わり、ありがとうございます。

佐藤ガバナーエレクトが昨年国内研修2回と、今年1月フロリダオーランド国際協議会の総括研修を終え、2024-25年度ステファニーAアーチックRI会長テーマ「ロータリーのマジック」とRI方針が発表されました。

このPETSは、佐藤ガバナーエレクトの地区スローガン「小さな奉仕を積み重ね希望の未来へ」と地区方針、そして、合わせて地区の重要課題を共有頂き、次年度クラブ会長の皆様にご理解頂き、各クラブの次年度クラブ計画に盛り込んで頂くための会合です。

本日は、Aゾーンコーディネーター補佐今井様、RI日本事務局の寺島様をお迎えしております。

RI第2540地区秋田の会員数1,100陥落問題は、重大な危機にある事をクラブ会長エレクト、次期幹事様へお伝えしなければなりません。

当地区は、2024年1月RI理事会決定、RI国際ロータリー地区編成委員会からRI第2540地区長期戦略計画の提出勧告を受け、現在、計画策定の最終段階に入りました。そして佐藤ガバナーエレクトには、3月までに報告書提出が求められています。

RI第2540地区長期戦略計画は、RI国際ロータリー地区編成委員会へ提出する書類ですので、この原案を事前にAゾーン地域コーディネーター橋岡久太郎様そして、RI理事・RI理事エレクト様からご指導を頂き、5月地区協議会で全クラブにお示めし出来るよう努めております。

佐藤ガバナーエレクトは「地区の在り方、研修の方法、親睦等、見直す事柄は変えるなら今です」と述べています。この地区長期戦略計画は、次年度佐藤ガバナーエレクト及び次々年度桑山ガバナーノミニエそしてデジグネートの地区方針の基となり、同時に地区各クラブ活動計画のベースとなるものです。

この後、次期地区長期戦略計画委員長、策定会議座長から説明がありますので、クラブ計画書に宜しく反映して頂きたくお願い申し上げます。合わせて、地区資金規定の一部改訂を全クラブにお知らせしますので、クラブに持ち帰って検討いただきたく存じます。

新年度7月から各ロータリークラブリーダーの皆様、クラブ会長として幹事として活躍されることに大いに期待しております。くどいですが、当地区の優先事項は会員増強拡大です。何卒ご理解ください。

結びになりますが、PETS研修セミナーはとても大事ですが、ロータリーは親睦をより大切にしております。楽しく学んでいただき、本日のセミナーが次年度に向け実りあることをご祈念申し上げ挨拶とします。







大曲仙北 30 周年ガバナー挨拶

2024.4.14

ガバナー 淡路 徹

ご紹介いただきました、潟上ロータリークラブ所属 1989 年入会で、職業は白兎印製品、米穀加工食品を生業とし、79 年目の淡路製粉取締役会長です。

まずもって、大曲仙北ロータリークラブ様の創立 30 周年、誠におめでとうございます。大曲仙北 RC 様は 26 名のチャーターメンバーで 1993 年に創立、青森と秋田 254 地区が分割し RI 第 2540 地区として独立した頃です。

この 30 年間、会員各位がご健勝でしかも、会員のご家族様や会員の会社社員の皆様のご理解と支えがあってこそこの賜物ではないかと思っており、誠にありがたく感謝したいと存じます。

この期間、大曲仙北ロータリークラブ様は「大曲支援学校支える会」を継続して奉仕する活動を続けていることは素晴らしいことで又、小中学生支援として「ふれあいオーケストラ」や、「未来を担う子供たちを支援するプロジェクト」を継続され、「市内保育園数ヶ所を対象に絵本や、傘立てなど要望に沿った奉仕活動」を行っていると同いました。

是非 継続の中に改革を続け、奉仕活動をより活発にし、ロータリーの公共イメージ向上、ひいては ロータリアンの会員増強につながる事をご祈念します。

ロータリアンが目指す奉仕の理想を実現するためには、新会員の加入でクラブを活性化させ、奉仕活動を支えるクラブ会員数の確保が必要です。

是非 40 年 50 年と続く「継続する力」こそが大切です。そのためには新しい会員を増やしクラブを活性化する事です。

本日 30 周年式典に、ご出席の各クラブの皆様へ第 2540 地区からのお願いです。年度末までに各クラブの年度当初会員数+1 以上になるようご登録を宜しく重ねてお願い申し上げます。地区の分割や、統合に歯止めをかけるには 1,100 会員以上でなければならないのです。皆様の各クラブのお力が必要なのです。

結びに、本日の 30 周年式典と祝賀会のご準備に田口会長、花澤幹事様、そして実行委員長様、クラブ会員の皆様、大変ご苦労さまでした。感謝と御礼を申し上げます。

表彰・感謝状をお受けになった皆様、あらためてお祝い申し上げます

また、本日の思い出は、ご列席の皆様に大きな感銘として残る事でしょう。この式典を機に、更なる会員相互の親睦と信頼が深まりますと共に、貴クラブが益々 40 年 50 年と発展します事と、本日ご臨席の皆様のご健勝とご多幸、御活躍を心からご祈念申し上げますお祝いの言葉といたします。本日は誠におめでとうございます。





大曲仙北 RC 草薙(くさなぎ) 渉(わたる)

2024年4月1日入会

職業分類 技術系サービス業

勤務先名 株式会社 長岐建築設計事務所

役職 代表取締役



大曲仙北 RC 伊岡森(いおかもり) 久美子(くみこ)

2024年4月1日入会

職業分類 保険営業

勤務先名 明治安田生命

役職 支部マネジャー



横手南 RC 地主(じぬし) みゆき

2024年4月1日入会

職業分類 保険業

勤務先名 損害保険ジャパン株式会社

役職 横手支社 支社長



秋田南 RC 伊藤(いとう) 大貴(だいき)

2024年4月1日入会

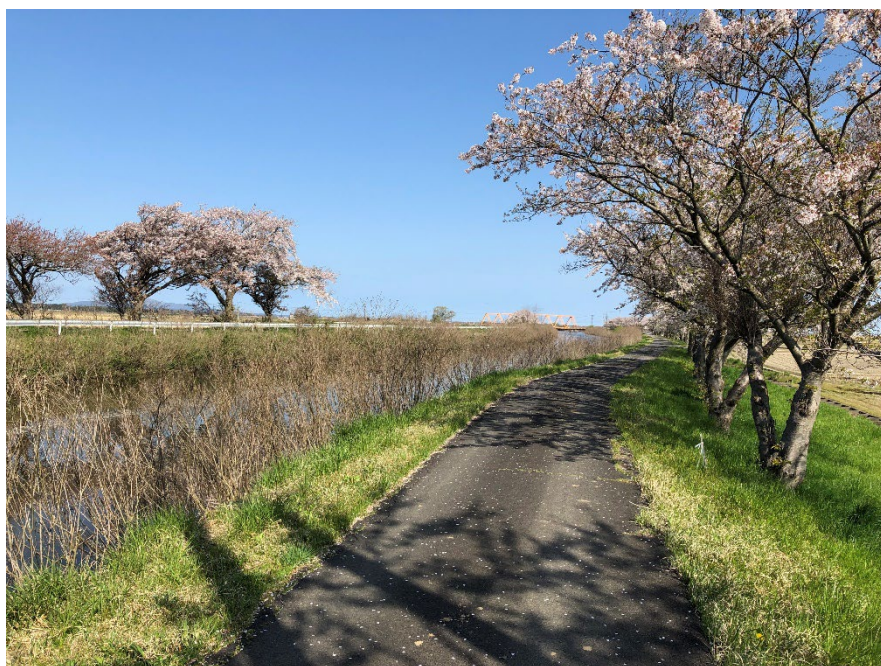
職業分類 建築業(大工工事業)

勤務先名 有限会社 富士工務店

役職 常務取締役



潟上市大久保地区、馬踏川河口近くの桜並木より太平山地を望む田園風景



馬踏川の河口に向かって

Rotary
第2540地区



世界に希望を生み出そう

ひとり一人の奉仕が光をともし、みんなの明かりに

国際ロータリー第 2540 地区

2022-23 年度 ガバナーエレクト事務所

〒018-1414 潟上市昭和豊川槻木字槻 13-1 ユナイテッド計画（株）内

TEL : 018-827-7860 / FAX : 018-827-7866 [E-mail : rid2540g23-24@siren.ocn.ne.jp](mailto:rid2540g23-24@siren.ocn.ne.jp)